

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 葛原 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

- (1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

- (2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

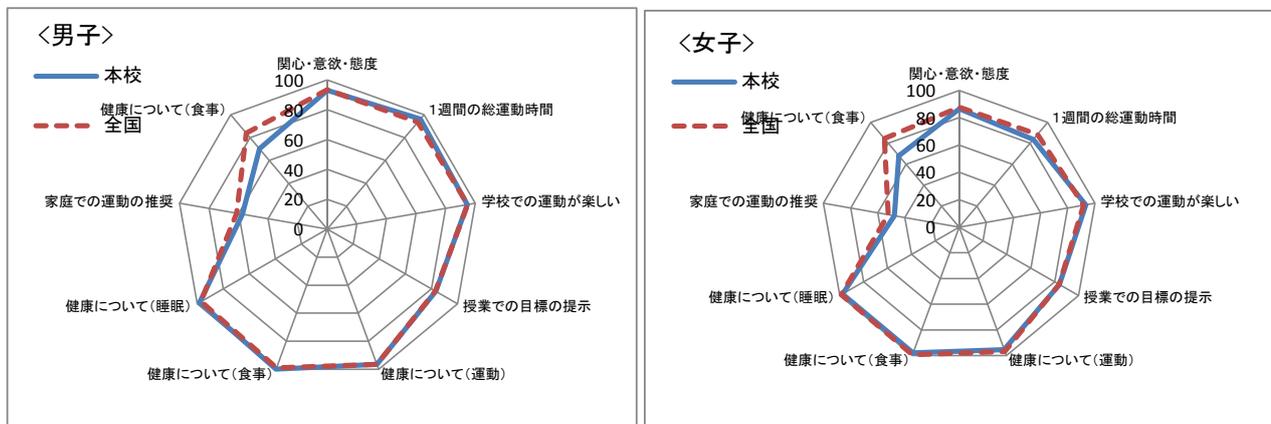
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77
全国平均以上の種目	○		○	○		○		○	○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74
全国平均以上の種目	○		○						

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

男子においては、1週間の総運動時間が全国平均を上回っており、運動の習慣づけが行えているといえる。一方、女子では全国平均を下回っており、今後、運動の習慣化に向けた取組が必要であると考えられる。

男女とも、健康について食事は大切であるという認識はできているが、朝食を毎日食べている割合は男女とも全国平均を下回っている。就寝、起床時刻等の生活リズムの改善が必要であると思われる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

上体起こしの向上をめざし柔軟性向上のため、体育科授業の準備運動にダンス等を引き続き取り入れ、効果的な活動となるよう、より工夫を加えていく。
体育科授業でのチーム編成等を工夫し、女子の活動量の確保に取り組む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

男女とも全国平均を下回っている「20mシャトルラン」「立ち幅とび」に着目し、持久力と跳躍力の向上のため、1校1取組として、引き続き縄跳びに取り組む。「縄跳びタイム」を今後も実施し、縄跳びへの興味・関心を高めるとともに、運動習慣の定着を図る。また、準備運動、補強運動として、体力向上プログラムの活用を図る。学校便りや学年・学級便りで子どもたちの活動の様子を知らせていく。